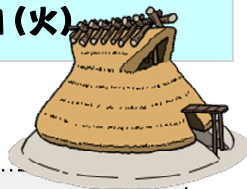




小島生涯学習交流館



出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年8月22日(火)

「はにわ作りだけではなく、はにわについての説明も
わかりやすかったと思います。」

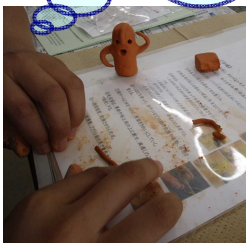
小島生涯学習交流館が、異年齢同士による団体活動の中で、様々な体験を通して、責任感や協調性を養いながら友だち作りをするチャレンジクラブという子ども講座の一つとして、ミニはにわ作りを通して、古代人の歴史を学ぶ目的で、小学3年～6年までの7人がミニはにわ作りを行いました。

ミニはにわ作り体験

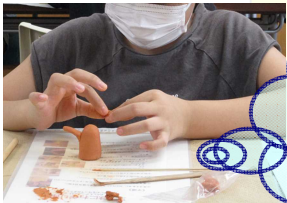
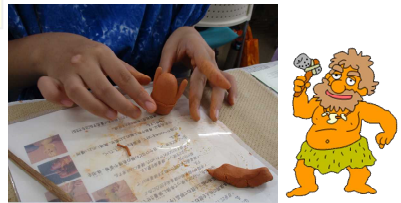
「土の粘土でいろいろなものを作るのが楽しかった。」

初めに、埴輪についての説明をしました。埴輪には円筒形の円筒埴輪や動物や人物、道具、家などの形象埴輪などがあることを学びました。

「はにわについてよく知ることができて、はにわも作れたから良かった。」

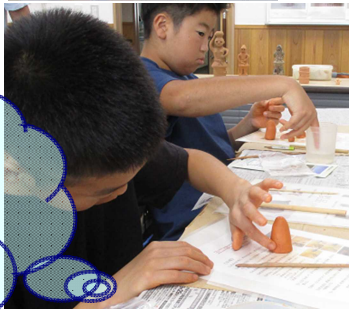


埴輪の作り方を確認した後、いよいよ子どもたちが粘土をこねて、形を作っていきます。土の粘土をこねながら、どんな形にしようか思いを巡らせていました。胴体部分を作っているとひびが入って困ったり、手などの部品をつける時に上手くいかなかったりして苦労していましたが、最後には個性豊かなミニはにわを作ることができました。



「最初は上手く作ることができると心配だったけど、上手にできて良かった。」

「どうしたら、はにわをきれいに作れるのか考えながら作れて楽しかったです。」



担当者の感想

「チャレンジクラブという全5回の講座の3回目で実施させていただきました。子どもたちは、はにわ作りチャレンジすることができました。はにわ作りだけではなく、はにわについての説明もわかりやすかったと思います。センターの職員さんには、各学年(個人)のレベルに合わせ、丁寧に分かりやすく指導してくれました。暑い中、ありがとうございました。」

